

# 稲雲

第27号

発行  
OB会事務局

## 目次

- 其の一 助監督寄稿
- 其の二 現役の抱負?等々
- 其の三 OB会マンシヨンの運用について
- 其の四 今年度の主な日程

## 助監督寄稿

戸田トワイライト

助監督 青木 優知  
(平成元年卒)

6年半前から助監督を勤めております青木と申します。最近OB会には出席しておりませんが、ご存じない方も多いと思いますが、毎週かならず戸田にはいますので、以後お見知り置きの程、お願い申し上げます。

さて、話は唐突に私めの高校の卒業式に移ります。私は、誰からも信じてもらえないのですが、実は鹿児島ラ・サール高校出身だったりします。この卒業式は毎年2月10日と鹿児島県内のトップを切って行われ(というよりも早過ぎですね)、しかも非常にユニークであることから有名でした。

何がユニークだったか。例えば、私の年次について言いますと、まず卒業生の答辞は漫才です。しかもドタバタ系。そして漫才の最後に「ゲストを呼んでみましよう」とかなんとか言いながら学年の物まね名人を壇上に呼び、いろんな先生の真似を披露します(それがその先生にとってふれられたくない特徴だったりもします)。この時点で先生方は大層お怒りです。そして卒業証書授与。当然一人々々壇上に上がるわけですが、そこで一発芸をやらす奴が多いと来ます。ちなみに私の年次でもっともウケたのは、校長の前を素通りして、ムーンウォークで戻ってきて卒業証書を受取るというものでした(それをやった奴は現役で東大理に受かり、今では精神科医だったりします)。

大変盛り上がった卒業式でしたが、後日同級生達と再会したとき、あの先生が怒りまくっていたとか、今にも飛びかからんばかりだったとか、そういう話がいつばい出ました。それを聞いた私たちの感想は、「俺達が主役で、しかも最後のイベントでありながら、なぜそ

の程度のことが大目に見れないのか」というものでした。先生方への感謝を表すという視点が、全く以て欠けていたわけですね。若いなあ。

この卒業式を思い出さなくなつて久しかったのですが、今年の高松市の成人式(四人逮捕されたやつ)のVTRを見てショックを受けました。「俺ら、こいつらとあんまり変らんやないか」

日本の学歴社会の頂点に位置すると思われるこの高校でさえそうなのですか。いわんやヤンキーくずれ及び無職の20歳をや。というよりも、ジエネレーションギャップに「伝統」のギャップが加わると、感謝や礼儀も同じく途絶えてしまつてはいないか。そんな感想を抱いた1月8日でした。それとも、私もおっさんになつたかな。もう36になりますしね。

伝説といえば、みなさんは「日本男児」としての誇りをお持ちですか。時代錯誤も甚だしいと思う方がほとんどではないでしょうか(坂の上の雲)を読み終つた直後ならまた違つたでしょうか。では、「ワセダ」の男としての誇りはどうでしょう。年輩の方はお持ちなのでしょうが、私位の年代から下はたぶん持つてないでしょう。私もそうです。しかし、「早大理工クルー」としての誇りは未だに強く持っています。しかしここ数年は、学生に「早大理工クルー」としての誇りまでもが見られなくなつてしまいました。この事実をみなさんはどうお考えですか。

例えば10年前の「世界最強の日本」が有つた時代に「日本男児」の誇りを持ってと言われても無理でしたよね。また、私が学生時代はワセダラグビーが日本一(!!)となるなど、ワセダはけっこう輝いていたわけですが、だからといって「ワセダ」の誇りを持つ学生が多かつたかといえば、全然そんなことはありませんでした。ということとは、早大理工の強い弱いには関係が無く、単にナショナルリズムのスケールがだんだん小さくなつて行つて行くわけですね。だから、私は、現役連中のモチベーションが上がらないことに対して、非難することなどできん、と思うわけです。

私の現役時代の「常識」として、「学生生活はポート最優先」というのがあり、練習にさわる夜のバイトや忙しい研究室の選択や、性欲満タンの女とつきあつた「タブー」でした。でも今は違います。夜のバイトは、そつでもしなれば合宿費が払えない(人数が少ないので艇庫の維持費を頭割すると負担が大きい)ので、事実上黙認です。まあ、さすがに居酒屋のバイトをやつてる奴がいたときはやめさせましたが、そして研究室の選択は、当然ながら口を挟みません。昨年、4+一杯組めるかどうかの状況の中、どうにかこうにか4年の主要メンバーの引留めに成功しましたが、「乗つてもいいが女と会う時間をくれ」という奴がいて、日曜日のトレーニングを原則無しにしました。このように、練習は彼らの日常生活のなかで「One of

them」に過ぎないので。そついえば、ことしもテニスサークルの合宿のために、合宿人が1週間遅れた奴がいましたっけ。

こういう現状は、大抵の方にはショックでしょう。ではどうするか。どうしようもないんです。ちなみに、井熊さんと私のコンビは非常に「厳しい」です。二人ともこだわらざるを得ない点については、絶対に譲りません。一方的に雷を落すよつな原始的なこともしよつちゅうやります。反論を決して許さないことでもあります。でも、彼らがポートを「One of them」と考えることについては手が出しようがないんです。

「ポートを優先させる」という理屈として、あるとき井熊さんが学生にした話を紹介してみましよう。「スポーツには、必ず負ける場合がある。そして、スポーツマンは、どれだけ頑張つてもそれが全く報いられないこともあり得ることを知っている。負けたとき、言訳というのはいり得ない。相手を上回れなかった努力が足りなかった、そののみだ。一方、社会に出ると、仕事がつまらなく行かないとき自己弁護に終始する。パナ中間管理職がいるが、そついうのは大抵ろくにスポーツをやつたこともない連中だ。そついうクズと一線を画すための修練がスポーツだ。」(以上、要約)

私は思わず唖つてしまいました。しかし、彼らにどのくらい伝わつたかは甚だ疑問で、井熊さんもまたそれがあわかりのようです。すさまじい閉塞感。しかしそれに負けては学生に伝染する。一体私たちはどうすればいいんでしょう。

普通、こついうとき「人心」一新を目指してコーチ陣総入れ替へなんてことをプロ野球ではやつたりしますが、早大理工でも同じ事ができないものでしょうか。井熊さんともかくとして、私はもう手詰りです。新しい視点で彼らの教育をやつた方がいいのではと心底思います。どなたか手を挙げて下さる方はいらつしやいませんか?

実は、後任のサジェスチョンは2年ほど前からそれとなくやつていました。しかし、「弱い早大理工なんて見たくねーよ」の一言で一蹴され続けております。じゃあ、強けりや目を向けてくれるのか?それは何か間違つていないか?なんだか、どつちもどつちのようない気がしますが。

果して早大理工に明日はあるのか。OBが変わるか。それとも昭和63年の軽量級優勝クルーのような、突然変異的の新人獲得が成功するまで雌伏の時をすこすか?そろそろまじめに考えないと、再来年あたり早大理工は消滅すると思えますよ(事実去年は休部を検討しましたもんね)。

以上

## 現役の抱負?等々

ヘッドコーチ抱負

水本 崇  
土木 修士二年

理工ポート部OBの皆様、こんにちは。今期、理工ポート部のヘッドコーチを務めます、修士2年の水本崇です。よろしくお願ひします。

今年2月16日に合宿入りをしまして、ちょうど一ヶ月ほど経ちます。合宿者は、新4年生4人、新3年生1人、新2年生4人の合計9名です。昔に比べると、人数は極端に少なくなりました。現段階では、イト1艇とスカル1艇を組み、練習に励んでおります。ここ最近の、部員不足によるマイナス効果は様々なところに見られます。一番は、選手層の厚さの問題だと思ひます。人数が多い頃は、クルーを組む際にはイトでも対校艇やセカンド艇を組むことができたところ聞きます。自然と、部内には対校イトに乗るための熾烈な競争が起こつたと思ひます。しかし、人数が少ない現在では、組む艇組む艇が全て対校艇になります。数少ないぎりぎりの人数でイトを組めば、それが対校イトと呼ばれます。誰かが怪我をすれば控えの選手はいません。極端に言えば、誰でも対校艇に乗れるといつた状況です。ですから、部内には昔ほど競争意識をむきだしにした、ガツガツした感じはないかもいれません。ただ、暗い話ばかりではありません。明るい話も多々あります。

このよう状況で組んだ一昨年の対校イトでは、関東理工系レガッタで宿敵東工大から12年ぶりとなる勝利を収めましたし、夏のインカレでも50%という部内歴代何位という好タイムを出すことが出来ました。昨年の対校イトでも2年連続関東理工系レガッタで東工大に勝利しましたし、東日本インカレでは優勝しました。現在、上級生と一緒にイトに乗っている新2年生は、秋の東日本新人でフォアでハラキリをしながらも3分30秒を出し3位入賞しました。これらの好結果の原因については、個人的には次のように思ひます。まず第一に、昔の部員数が多い頃のように監督や助監督による直接の指導が部内のトップクルーのみに与えられるのではなく、現在のように対校イトに上級生と下級生とが乗っているような状況では、その指導が上級生、下級生と分け隔てなく受けられること、2番目に、上級生、下級生が同じ艇に乗ることで技術の伝承速度が速まっているからではないか考えています。また、現在のこのような状況において一番に嬉しいことは、人数は少ないながらも4

年生まで続ける割合は昔よりも高いことです。後輩に  
対して良い見本となっています。これが、理工ポ  
部の文化の一つになってくれればと思います。

以上のような状況ですが、部員 1 人 1 人の意識は高  
く、日々練習に励んでおります。試合、行事につ  
いても、部全体が一丸となって取り組み、乗り越えてい  
くと考えています。

最後に、人数が少ないこの時期に、OB 会の方々か  
らは多大な援助をいただき、現役一同大変感謝し  
ております。これからも応援の程、よろしく願  
います。

~~~~~

主将抱負

雑賀 寛志

(さいが ひろし)

建築 四年

建築新 4 年、現理工ポト部主将の雑賀です。

現在、理工ポト部は漕手として新 4 年生 4 人・新  
3 年生 1 人・新 2 年生 4 人、漕手以外数人、他大の女  
子マナージャー数人で活動しています。やはり、近年  
部員不足が深刻で部の運営そのものが厳しい状態  
です。そんな中、今年は理工ポト部が工科系レガッタ  
を運営することになり、新人勧誘の時期とも重なって  
責任重大です。また、今年の 7 月には文学部キャン  
パスの隣に新学生会館がオープンし、大久保キャンパ  
スに部室を所有している理工学部公認サークルは 8  
月には全て新学生会館に引っ越さなければなりません。  
現在の部室のある場所の 8 月以降の使用方法はま  
だ決まっていませんが、部室移転後は休み時間のエ  
ルゴでのトレーニングに支障がでるものと思われま  
すので、エルゴの置き場所を確保しようと理工学部事務  
所に訴えています。また、部室の場所が遠くなつてし  
まうので、来年以降の新人勧誘にも少なからず影響が  
でるものと思われま

す。  
今年例年以上にイベントが多く、それを少ない人  
数で対応しなければならぬので、大変ですがみんな  
で力を合わせて乗り切っていきたいと思ひます。やは  
り、一番大切なのは何よりもポトなので、インカレ  
目指してがんばっていきたいと思ひます。また、アド  
バイス等ありましたらご指導いただければと思ひま  
す。  
末筆になりましたが、今年も応援よろしく願ひし  
ます。

~~~~~

そのほかの部員達からのコメント

4 年生編

安藤 孝夫(あんどう たかお)

機械 四年

今年最後の年となるので、今までポトをやつて  
きた集大成として、できる限りのことをやりたいです。  
そのうえで、結果もついてきてくれればうれしいです。

松原 晶(まつばら あきら)

化学 四年

勝つ。

大鶴 俊司(おおつる しゅんじ)

物質開発 四年

インカレ最終日まで残って、日曜日に打ち上げがで  
きるようにしたいです。

~~~~~

3 年生編

森 岳彦(もり たけひこ)

電気 三年

やっつてやる！

~~~~~

2 年生編

山本 佳嗣(やまもと よしひで)

建築 二年

理工ポト部は人数的にはつらい状態ではありま  
すが、一人一人が意識を高く持ってポトを漕いでい  
ます。自分も、もっと強く！もっと速く！をモットー  
に日々練習し、理工ポト部の戸田最速を目指したい  
と思ひます。

池田 真美(いけだ まさみ)

応化 二年

1 本 1 本強蹴り！全レース強気！

河野 壮一(こうの そういち)

化学 二年

去年は 4 + で 2 番を漕ぎ、東日本ジュニアでは惜し  
くも負けてしまいましたが、今年は 2 年生の先輩方の  
指導のもと、上を目指して頑張りたいです。

名波谷 英行(なばや ひでゆき)

物質開発 二年

上を目指す。

^^^^^ O B 会マンシヨンの運用について ^^^^^

現在、OB 会が所有するマンシヨン(埼玉県戸田市)  
について懸案事項が挙がっております。

この場を借りて、状況を報告させていただきます。

コーチ・マンシヨンの件

OB 会長 白田 裕一  
(S49 年卒)

OB の方々、御無沙汰しております。  
本年も既にポト・シーズンがスタートし、我々の  
理工ポトも 2 桁の新人を迎え新たな出発をしてお  
ります。

御承知の方も多いかとは思ひますが、今シーズンは  
基本的にイト 1 パイ、シングル・スカル 1 パイでシ  
ーズンに望んでいます。彼等のうち 6 名が戸田での合  
宿を希望しています。今の合宿所で 6 名が寝起きを共  
にするのは物理的に困難な為、OB 会所有のコーチ・  
マンシヨンに現役 1 名を宿泊することを皆様に御了  
承戴きたく。

コーチ・マンシヨンはそもそも OB の集いの場を想  
定して、皆様からの浄財により購入したものであり、  
なし崩し的にコーチ・マンシヨンを合宿所化する心算  
は御座いません。逆に、この機会に、現役・監督・コ  
ーチ陣を交えて、各学年の部員数が 1 桁という理工ポ  
トの現状を踏まえ、合宿所、艇の手当て等の問題に  
今後どの様に対処して行くかを、皆様と共に考えて行  
きたいと思ひます。

就きましては、上述に関し、OB の方々の忌憚無い  
御意見を拝聴致したく。

以下にメール、乃至はファックス戴けると幸甚です。

メール: [Y.Shikota@xm.mitsui.co.jp](mailto:Y.Shikota@xm.mitsui.co.jp)

ファックス: 03-3285-3129

以上

コーチマンション使用について O B 会員の皆様へ

大鶴俊司  
物質開発 四年

今回は現役を代表して O B 会員の皆様にお願いをするために文章を書かせていただくことになりました。お願いいたします。表題にもあるように O B 会の所有しているコーチマンションの使用についてです。

まず先に部の現状から報告させていただきます。昨年からは漕手、COX 合わせて 10 名ほどの少人数となり、以前までのような大きな合宿所を維持していくのが経済的に大変困難となりました。そこで現在はアパートの一室を合宿所として利用しているのですが、4~5 名が生活するのが精一杯という規模なので自宅から艇庫まで通うことのできる者を除いても合宿者全員を収容することができないため、昨年より上級生が O B 会長をはじめとする O B 会トップの方々に臨時の特別許可を頂くという形でコーチマンションを合宿所として利用させていただいています。今年も昨年と人的にはほぼ同様の状況であるため引き続き自分が許可を頂きコーチマンションを使用させていただきます。

このマンションについては 10 年近く前の購入時に「現役の合宿所としては使用しない」という取り決めがあったそうですが、来シーズン以降も似たような状況になる可能性は十分に考えられるため、それについて現役にも継続的に開放していただけるように制度を変えていただけないでしょうか。かつてのように大人数で大きな合宿所に住むという形ならば、一人二人位しか住めないマンションを使わなくてもそれほどの負担はないでしょうが現在の人数、環境においては、このマンションが使えるか使えないかによって自分たちの負担も大きく変わってきます。どうかご理解いただければ幸いです。

^^^ 今年度の主な日程 vvv

2001年のレース予定等			
4月	7日(土)~8日(日)	お花見レガッタ	戸田ボートコース
	22日(日)	早慶レガッタ	隅田川
5月	3日(木)~5日(土)	戸田レガッタ	戸田ボートコース
	19日(日)	関東理工系レガッタ	戸田ボートコース
6月	5月31日(木)~3日(日)	全日本選手権	戸田ボートコース
	16日(土)~17日(日)	東日本大学選手権	戸田ボートコース
7月	6月29日(金)~1日(日)	全日本軽量級選手権	戸田ボートコース
8月	11日(土)~12日(日)	東日本選手権	戸田ボートコース
	23日(木)~26日(日)	全日本大学選手権	戸田ボートコース
	24日(金)~26日(日)	オックスフォード楫レガッタ	戸田ボートコース
10月	5日(金)~7日(日)	全日本新人選手権	
	13日(土)~14日(日)	東日本新人選手権	戸田ボートコース
11月	3日(水)	O B 総会	大隈会館

なおレース日程については、今後変更になる可能性もあります。また、理工ボート部の出漕が未定であるレースも含まれています。詳細は合宿所等へお問い合わせ下さい。

^^^ 編集後記 vvv

今回、稲雲 27 号を本年四月に発行する予定でしたが、発行が大幅に遅延してしまいました。早くから原稿を寄稿していただいた皆様、そして読者の皆様にお詫びいたします。

現在 O B 会事務局では来年開催予定の理工漕艇部創部四十周年に向けて、O B 名簿の整備を行っております。

もちろん、本会報をお読みになつていらっしゃる皆様は O B 会として住所等の確認をすることができています。しかし、所在が不明になっている方が O B の三分の一強いらっしゃいます。

O B 会事務局より不明の方の所在をお尋ねする場合があります。なお稲雲にしましては今後も引き続き、年間 2 回を目標に発行していきたいと考えております。投稿は大歓迎です。ボートとかかわりの無い話題でもバンバン掲載させていただきます。現在投稿の受付は e-mail のみとさせていただきますが、アドレス

inagumo@mui.biglobe.ne.jp

まで、投稿よろしく願っています。

(稲雲編集部)